

令和3年度事業報告書

公益財団法人宮崎県産業振興機構

1 公益財団法人宮崎県産業振興機構の概要

(1) 目的

県内中小企業における、経営基盤強化、経営の革新、技術の高度化及び新事業の創出並びに関係組織・機関との連携の推進等に資する事業を行うことにより、本県産業の振興を図るとともに、活力ある地域社会の形成に寄与することを目的とする。

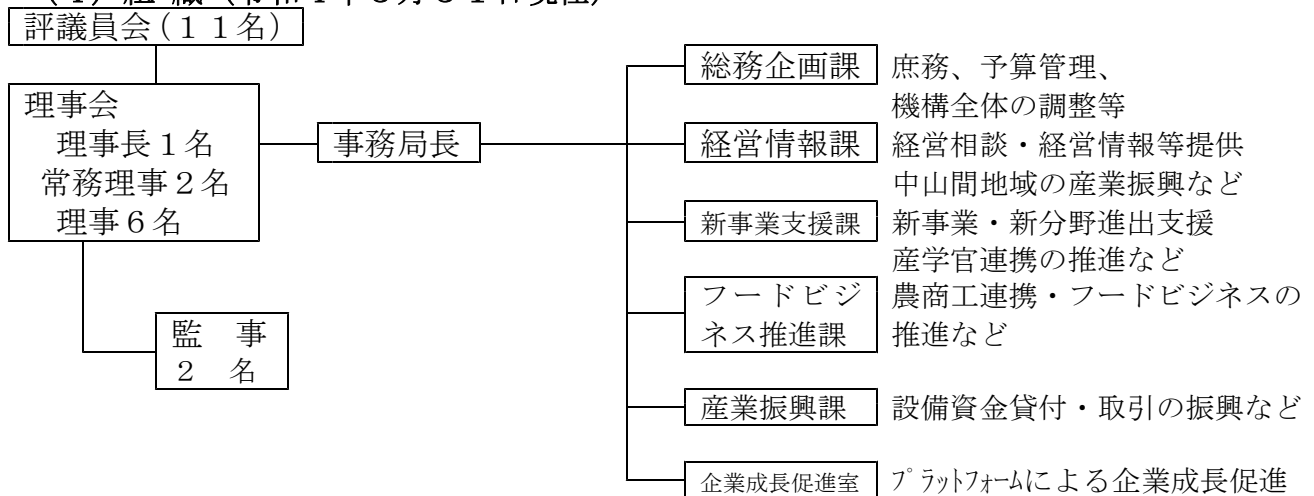
(2) 事業

- ①経営課題等に対する相談、助言に関する事業
- ②新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業
- ③経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業
- ④産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業
- ⑤産業振興に資する人材の育成に関する事業
- ⑥産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

(3) 沿革

| | |
|--------|---|
| 平12. 4 | 財団法人 宮崎県産業支援財団設立 (4月1日) (財) 宮崎県産業技術情報センター(昭54. 9 設立)と (財) 宮崎県中小企業振興公社(昭43. 5 設立)を統合 |
| 25. 4 | 公益財団法人に移行、名称を公益財団法人宮崎県産業振興機構に変更 |

(4) 組織 (令和4年3月31日現在)



| | |
|---------------------------|-----|
| 常勤役員 | 3名 |
| 職員① (県派遣職員・プロパー職員・企業派遣職員) | 15名 |
| 職員② (有期雇用職員・無期雇用職員) | 25名 |
| コーディネーター、アドバイザー等 (委嘱契約等) | 47名 |
| 合計 | 90名 |

(5) 所在地

- ① 宮崎市佐土原町東上那珂16500番地2 (宮崎県工業技術センター内)。
- ② なお、当機構が運営する「みやざきフードビジネス相談ステーション」は宮崎グリーンピア壱番館 (K I T E N) 3階に、また企業成長促進室の職員が事務局員を務める「宮崎県企業成長促進プラットフォーム事務局」は同7階に設置。

2 評議員会・理事会の開催状況

(1) 評議員会の開催状況

第1回評議員会

日 時：令和3年6月28日
場 所：宮崎観光ホテル 西館「スカイホール」
議 事：(1) 令和2年度事業報告について
(2) 令和2年度収支決算について
(3) 評議員の選任について
(4) 役員を選任について

第2回評議員会

日 時：令和4年3月29日
場 所：宮崎観光ホテル 東館「日向」
議 事：(1) 評議員会会長の選任について
(2) 評議員会副会長の選任について
(3) 評議員の選任について
(4) 役員を選任について

(2) 理事会の開催状況

第1回理事会

日 時：令和3年4月1日 書面審議
議 事：(1) 業務執行理事の選定について
(2) 事務局長の選任について

第2回理事会

日 時：令和3年6月8日
場 所：KITEN 8階コンベンションホール中会議室
議 事：(1) 令和2年度事業報告について
(2) 令和2年度収支決算について
(3) 令和3年度第1回評議員会の開催について

第3回理事会

日 時：令和3年6月28日 書面決議
議 事：代表理事及び業務執行理事の選定について

第4回理事会

日 時：令和3年10月27日
場 所：KITEN 8階コンベンションホール中会議室
議 事：(1) 令和3年度上半期における事業の進捗状況等について
(2) 令和3年度事業計画及び収支予算の変更の専決について
(3) 第5期中期運営計画における数値目標の見直しについて

第5回理事会

日 時：令和4年3月15日
場 所：KITEN 8階コンベンションホール中会議室
議 事：(1) 令和3年度下半期における業務執行状況等について
(2) 令和4年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
(3) 令和3年度第2回評議員会の開催について

3 令和3年度事業の概況

令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、県独自の緊急事態宣言が2回発令されたことで、特に、宿泊、飲食、観光等のサービス業を中心に多くの事業者が苦しい経営を強いられるなど、県民生活や経済活動に大きな影響が及んだ。

こうした中、当機構では国や県及び関連団体と密接な連携を図りながら、速やかに補正予算を計上し、新型コロナウイルス感染症により打撃を受けた中小企業に対する支援策を迅速かつ的確に実施するとともに、産学官の共同研究、事業者の新しいビジネスモデルへの転換や地域課題解決に向けた相談・取組等に対しても、積極的に支援を行ったところである。

具体的な取組としては、新型コロナウイルス感染症対策として、県との連携の下、経営環境の変化に対応する新事業展開や経営基盤強化を図るための事業や、ものづくり企業の技術力向上に向けた取組に対して補助事業を実施した。

開設から8年目となった「よろず支援拠点」では、商工団体や金融機関等とも積極的な連携を図り、セミナーや研修会の合同開催、出張相談など、様々な方面から事業者支援を行ったほか、「みやざきフードビジネス相談ステーション」においては、ワンストップ相談窓口としての対応や新商品開発・改良などに取り組む事業者に対しての支援を行うとともに、支援事例の紹介などの情報発信を積極的に行った。

また、今後の県内経済を牽引し、成長が期待される企業の発掘・育成に努め、令和3年度は「成長期待企業」として新たに5社を認定し伴走支援を行ったほか、県内外に配置しているコーディネーターやアドバイザーとのネットワークを活かし、取引拡大に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供するとともに、コロナ禍の中、WEB商談なども効率的に取り入れながら、中小企業の取引振興を図った。

このような公益財団法人としての役割を果たしていくためには、財政基盤の安定が不可欠であることから、各事業の予算の執行管理を徹底するとともに、自主財源の確保を図るため、優遇措置の拡大による賛助会員の加入促進に積極的に取り組んだ。

以上、令和3年度も、第5期中期運営計画に基づき、企業に寄り添いサポートすることを心がけながら、県内中小企業・小規模事業者の新型コロナウイルス感染症の影響からの速やかな回復と今後の持続可能な成長・発展に向けて、職員一丸となって積極的・効果的な支援に努めたところである。

令和3年度に実施した各事業の実績については、以下の通りである。

令和3年度事業費総括表

(単位：千円)

| | 最終予算額(A) | 決算額(B) | 差引額 (A)-(B) |
|--|------------------|----------------|----------------|
| (1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業 | 102,127 | 88,256 | 13,871 |
| ① ものづくり企業事業活動回復支援事業 | 6,539 | 2,787 | 3,752 |
| ② 中小企業等経営再構築サポート事業 | 10,000 | 4,366 | 5,634 |
| ③ みやざきビジネス応援プラザ運営事業 | 1,861 | 1,334 | 527 |
| ④ よろず支援拠点事業 | 83,727 | 79,769 | 3,958 |
| (2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業 | 437,428 | 309,483 | 127,945 |
| ① ものづくり産業新事業展開支援事業 | 499 | 498 | 1 |
| ② みやざき農商工連携支援事業 | 8,000 | 6,429 | 1,571 |
| ③ 研究開発支援事業 | 13,517 | 11,006 | 2,511 |
| ④ 実用化プロジェクト創出促進事業 | 816 | 712 | 104 |
| ⑤ 環境イノベーション支援事業 | 23,685 | 16,365 | 7,320 |
| ⑥ 中小企業特許出願等助成事業 | 3,365 | 1,979 | 1,386 |
| ⑦ 戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業) | 52,546 | 45,907 | 6,639 |
| ⑧ ものづくり企業技術力向上促進事業 | 55,000 | 15,019 | 39,981 |
| ⑨ 新事業展開・経営力強化支援事業 | 250,000 | 205,778 | 44,222 |
| ⑩ 新事業転換サポート事業 | 30,000 | 5,790 | 24,210 |
| (3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業 | 144,769 | 73,229 | 71,540 |
| ① 取引振興事業 | 14,752 | 14,751 | 1 |
| ② みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業 | 130,017 | 58,478 | 71,539 |
| (4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業 | 4,678 | 5,192 | ▲ 514 |
| ① 情報化支援活動事業 | 4,678 | 5,192 | ▲ 514 |
| (5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業 | 19,076 | 14,988 | 4,088 |
| ① 人材育成事業 | 19,076 | 14,988 | 4,088 |
| (6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業 | 202,071 | 158,286 | 43,785 |
| ① 中山間地域産業振興センター運営事業 | 9,051 | 8,333 | 718 |
| ② 地域課題解決型起業支援事業 | 24,950 | 18,006 | 6,944 |
| ③ 東九州メディカルバレー医工連携総合支援事業 | 4,803 | 4,502 | 301 |
| ④ フードビジネス推進基盤強化事業 | 47,000 | 43,798 | 3,202 |
| ⑤ トータルコーディネーター配置事業 | 9,702 | 7,626 | 2,076 |
| ⑥ 食品表示法等アドバイザー派遣事業 | 5,592 | 5,592 | 0 |
| ⑦ プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業 | 77,892 | 57,376 | 20,516 |
| ⑧ 地域を支える未来企業育成事業 | 23,081 | 13,053 | 10,028 |
| 計(1~6) | 910,149 | 649,434 | 260,715 |
| 7 その他 | 309,767 | 291,765 | 18,002 |
| その他事業活動支出 | 104,025 | 84,607 | 19,418 |
| 財務活動支出 | 205,742 | 207,158 | ▲ 1,416 |
| 合計 | 1,219,916 | 941,199 | 278,717 |

(1) 経営課題等に対する相談、助言に関する事業

①みやざきビジネス応援プラザ運営事業（事業費：1,333,726円 県）

創業意欲があり優れた事業計画を持つ個人起業家やベンチャー企業を支援・育成するため、インキュベーションルームを低価格で提供するとともに、よろず支援拠点と連携して経営に関する指導・助言を行い、一貫した創業支援を行った。

| | | |
|------|------|----|
| 入居者数 | (延べ) | 4社 |
|------|------|----|

②よろず支援拠点事業（事業費：79,769,311円 国）

中小企業や小規模事業者の起業・成長・安定の各段階のニーズに応じたきめ細やかな対応を図るため、中小企業診断士、弁護士、税理士、広告戦略やIT関連分野の専門家など、総勢19名のコーディネーターを配置し、多様な相談に対応した。

相談対応に当たっては、宮崎市中心部、都城市、延岡市、日南市にそれぞれサテライトを開設するとともに、県内の創業支援拠点（都城市未来創造ステーション、えびの市起業支援センター）や宮崎県立図書館、金融機関で出張相談会を開催するなど、相談者の利便性向上を図った。

また、最も相談者が多い宮崎市中心部のサテライトについては、昨年9月にコワーキングスペースである「ATOMica宮崎」に移転し、相談者の利便性の更なる向上とコワーキングスペースを活用する事業者や個人事業主、起業を検討している方への相談対応など新規相談者及び人材の獲得に取り組んだ。

(コーディネーター 19名 ※令和4年3月末日)

| | | |
|---------------|-------|-----------------|
| チーフコーディネーター | 川野 圭介 | 中小企業診断士 |
| サブチーフコーディネーター | 小川 大輔 | WEBマーケター |
| | 長友 慶徳 | 弁護士、弁理士 |
| | 柳本 明子 | IT企業代表 |
| コーディネーター | 飯干 良美 | 社会保険労務士 |
| | 伊藤 陽生 | IT企業代表 |
| | 糸山 秀彦 | 税理士 |
| | 倉吉 教文 | 元商工会議所専務 |
| | 黒田 泰裕 | 中小企業診断士 |
| | 河野 宝 | 税理士 |
| | 島中 星輝 | デザイン企業代表 |
| | 下松 孝裕 | 中小企業診断士 |
| | 高橋 忠伸 | 中小企業診断士 |
| | 中城 健太 | 中小企業診断士 |
| | 新田 裕章 | 中小企業診断士 |
| | 馬場 拓 | 中小企業診断士 |
| | 福岡 正人 | 中小企業診断士、社会保険労務士 |
| | 宮田 理恵 | コンサルティング企業代表 |
| | 森 祐一 | HACCP総合支援マネージャー |

(企業相談実績)

| 業種 | 相談件数 |
|----------|---------|
| サービス業 | 4,022件 |
| 卸売業、小売業 | 2,304件 |
| 宿泊業、飲食業 | 1,951件 |
| 製造業 | 1,350件 |
| 農業・漁業・林業 | 568件 |
| 医療・福祉 | 501件 |
| 建設業 | 306件 |
| その他 | 551件 |
| 合計 | 11,553件 |

| 課題 | 相談件数 |
|-------------|---------|
| 経営知識 | 1,834件 |
| 広報戦略・広告デザイン | 1,681件 |
| 事業計画策定 | 1,564件 |
| 施策活用 | 1,339件 |
| 販路提案 | 1,175件 |
| IT活用 | 881件 |
| 資金繰り | 647件 |
| 現場改善・生産性向上 | 522件 |
| 市場設定・調査 | 496件 |
| 商品開発 | 480件 |
| 雇用・労務 | 320件 |
| 事業連携 | 244件 |
| その他 | 370件 |
| 合計 | 11,553件 |

(出張相談会開催状況)

| 開催回数 | 相談者数 | 開催場所 |
|------|------|---|
| 67回 | 395名 | 都城未来創造ステーション えびの市起業支援センター 日本政策金融公庫 宮崎太陽銀行 宮崎第一信用金庫 高鍋信用金庫 商工中金 宮崎商工会議所 ひむかBiz |

(セミナー開催状況)

| 開催回数 | 参加者数 | 開催テーマ |
|------|------|---|
| 98回 | 730名 | ・ 補助金・助成金に関すること ・ 雇用に関すること ・ IT活用に関すること (ホームページ、SNS活用) ・ 会計・税務に関すること ・ 事業承継に関すること |

(その他)

○女性起業家ビジネスプランコンテスト

開催日：令和3年10月23日

会場：宮崎大学コンベンションホール及びYouTubeライブ配信

参加者：同コンテスト最終審査進出者、審査員等

参加人数：72名 ※うちオンライン参加者 30名

内容：県内で新たなビジネスに挑戦する女性を対象にコンテストを実施。書類審査、プレゼンテーション審査を経て、当最終審査で最優秀賞を決定。
応募総数 32組 最終審査進出者 5組

③中小企業等経営再構築サポート事業（事業費：4,366,255円 県）

事業の再構築に取り組む企業に対して、当機構内にプロジェクトチームを構成し、支援計画の策定、コーディネーター等による助言指導や専門家派遣等の伴走支援を行うことで、事業継続が図られるとともに、新たな成長への基盤づくりを行うことができた。

| | |
|---------|-------|
| 支援企業数 | 12社 |
| 専門家派遣回数 | 延べ31回 |

④ものづくり企業事業活動回復支援事業（事業費：2,787,188円 県）

新型コロナにより様々な影響を受けた県内企業に対して、専門家による個別指導やセミナーを実施することにより、生産性向上による企業体質の改善を支援した。

| | |
|---------|-------|
| 支援企業数 | 20社 |
| 専門家派遣回数 | 延べ60回 |
| セミナー開催 | 5回 |

(2) 新事業の創出、新分野への進出等に対する助成に関する事業

①みやざき農商工連携支援事業（事業費：6,429,450円 県 全国協会）

中小企業者又は農林漁業者による地域資源を活用した、宮崎県産の素材に付加価値を付ける商品開発・商品改良の取組を支援した。

また、コロナ禍における販路開拓の手段として非対面での取引の拡大が予想されるため、オンライン商談会やECによる販路開拓及びそれに伴う商品開発等個別相談会を実施した。

ア 商品開発・商品改良の取組への支援

| | 事業者名 | 事業計画名 |
|----|-------------------|---|
| 1 | (株)イート | キャラいも新機軸の商品展開 |
| 2 | (株)井ヶ田製茶北郷茶園 | べにふうき茶の機能性表示食品開発 |
| 3 | いちにのいちご園 | いちご40%シリーズ！ミルクなしシャーベットアイスクリームセットのリニューアルと飲料の商品開発 |
| 4 | (有)オッティモ | 宮崎県産栗と茶を使用した洋焼菓子の開発及び販路拡大 |
| 5 | (株)元祖おび天本舗 | 日本のひなた宮崎「おび天バラエティーセット」真空化事業 |
| 6 | PARK miyakonojo | 宮崎県産の食材を生かしたからだにやさしいスイーツを全国へ！ |
| 7 | ばあちゃん本舗(株) | 宮崎県産人参を使ったドレッシングの開発 |
| 8 | 早川しょうゆみそ(株) | 宮崎県産「有機ゆず」を活用した「有機柚子みそ」の開発 |
| 9 | (株)ひむか屋 | 宮崎県産品を使用したミルク饅頭シリーズ開発 |
| 10 | ふらんす食堂Bistroマルハチ | 宮崎県産魚を使ったソースの開発 |
| 11 | (株)まるはちふくれ菓子店 | ふくれ菓子の新商品開発 |
| 12 | ヤマエ食品工業(株) | 大豆ミート味噌 |
| 13 | (株)ヨシカワ(レイトバック珈琲) | 宮崎県産果実を活用したクラフトコーラの開発 |

イ 個別相談会

| 期間 | 令和3年7月～令和4年3月 |
|----|--|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象事業者：EC活用に関心のある県内事業者を募り17事業者が参加 ・ECの効果的な活用、ECに合った商品の開発・改良について支援 ・面談により効果的・効率的なネットショップ運営及び商品開発をマンツーマンで指導。 ・1～1.5時間/コマで延べ88コマの個別相談をオンラインで実施 ・前年度実施したEC販路開拓Webセミナーをアーカイブ配信し、延べ219回の視聴 |

②産学官共同研究開発支援事業（事業費：11,005,590円 県）

宮崎県工業技術センター等の公設試験研究機関や大学等が所有する研究成果と、県内企業の事業化意欲とを効率的かつ効果的に結びつけた産学官連携の技術開発により、新産業の創出を図った。

| | テーマ | 管理法人 | 共同研究者 |
|---|--|-----------|-------------------------------|
| 1 | オンサイトで網羅的なウイルス検査を可能とするリアルタイムPCR装置(CHIM3-PCR)の開発 【R&D】R元年度採択 | (株)システム技研 | 鹿児島大学、 (株)スティックス バイオテック |

| | | | |
|----|--|----------------|--|
| 2 | 電解硫酸技術を用いた廃CFRPからのCF回収と再利用に関する調査 【F/S】R2年度採択 | マイクロエース(株) | 千葉工業大学 |
| 3 | 過荷重ランドセルの荷重分散を目的とする負担軽減装具の開発可能性調査研究 【F/S】R2年度採択 | (株)AOBA | 宮崎県工業技術センター |
| 4 | 宮崎県産乳酸菌を利用したγ-アミノ酪酸(GABA)高含有麹菌発酵乳飲料の開発 【F/S】R2年度採択 | (株)Milk Lab. | 宮崎県食品開発センター |
| 5 | 機能的表示食品や医薬品を指向した高付加価値シソ生産技術の事業可能性調査 【F/S】R2年度採択 | (有)SPミヤザキ | 宮崎県総合農業試験場 薬草・地域作物センター、 九州保健福祉大学 |
| 6 | SPG膜乳化による新規ピッカリングエマルジョン型製剤のcTACE療法への実用可能性 【F/S】R3年度採択 | エス・ピー・ジーテクノ(株) | 奈良県立医科大学 |
| 7 | 超短パルスレーダによるトンネル覆工コンクリートの背面空洞検出装置の事業化可能性調査 【F/S】R3年度採択 | (株)都城技建コンサルタント | テクノプロ(株)、 宮崎県工業技術センター |
| 8 | 糖分解酵素及び新規の酒造用酵母による低糖質ビールの開発 【F/S】R3年度採択 | 宮崎ひでじビール(株) | 宮崎県食品開発センター |
| 9 | ランドセル荷重負担軽減装具「ランカル」の製品開発 【R&D】R3年度採択 | (株)AOBA | 宮崎県工業技術センター |
| 10 | シラス多孔質ガラス薄膜の実用化に向けたスパッタリングターゲット材の開発 【R&D】R3年度採択 | 高千穂シラス(株) | 都城工業高等専門学校 |
| 11 | 宮崎県産乳酸菌を利用したγ-アミノ酪酸(GABA)高含有麹菌発酵乳飲料の開発 【R&D】R3年度採択 | (株)Milk Lab. | 宮崎県食品開発センター |

③実用化プロジェクト創出促進事業（事業費：712,420円 県）

公募型研究開発プロジェクトへの提案内容の企画・設計を行う専門家を配置することにより、優れた研究成果の事業化を支援した。

④環境イノベーション支援事業（事業費：16,364,734円 県）

i 産業廃棄物の排出抑制やリサイクルを促進するため、産学官が連携した共同研究グループや県内企業が行う環境リサイクル関連の新事業創出に対して支援を行った。

| | テーマ | 管理法人 | 共同研究者 |
|---|---|----------|-------------------------------|
| 1 | 焼酎廃液微生物燃料電池の実用化に向けた開発 【R&D】R元年度採択 | (株)イープラン | 宮崎大学 |
| 2 | 軟骨魚類の未利用部位を活用した加工食品とペットフードの商品化技術開発 【R&D】R元年度採択 | (有)丸哲 | 岸上蒲鉾(株)、 宮崎県水産試験場、 宮崎大学 |
| 3 | 木材乾燥機廃液浄化技術の実証研究 【R&D】R元年度採択 | (株)高嶺木材 | 宮崎大学 |
| 4 | 多種類の不燃性産業廃棄物を活用した路盤材及びブロックの開発 【R&D】R2年度採択 | (株)塩川産業 | 宮崎大学 |
| 5 | 漬物残渣からの有用成分回収技術の基礎実験型可能性調査 | (株)上沖産業 | 宮崎県工業技術センター |

| | | | |
|---|---|-----------|------------------|
| | 【基礎実験型F/S】R3年度採択 | | |
| 6 | 鶏ふんの燃料ペレット化に関する基礎実験型調査 【基礎実験型F/S】R3年度採択 | (株)松山 | 都城工業高等専門学校 |
| 7 | 養豚排水処理施設における汚泥廃棄処分量削減のための「スマート汚泥管理システム」商品化可能性の基礎実験型調査 【基礎実験型F/S】R3年度採択 | 三桜電気工業(株) | 宮崎県畜産試験場 川南支場 |

ii 環境リサイクル関連事業で支援した研究開発成果の事業化や製品の販売促進を図るため、企業の展示会等への出展支援を行った。

| | テ ー マ | 事業者名 |
|---|---|-----------|
| 1 | 沖縄大交易会2021(リアル・オンライン)、スーパーマーケット・トレードショー(SMTS2022)への出展 | (株)MOMIKI |
| 2 | 中小企業 新ものづくり・新サービス展 への出展 | 吉玉精鍍(株) |

iii 環境リサイクル関連の研究開発テーマの掘り起こしを図るため、県内企業の潜在的開発ニーズや大学・公設試・企業の研究・技術ニーズの調査等を行った。

【研究開発等ニーズ調査】

- ・調査企業数：県内企業570社(回答数142社 回答率24.9%)
- ・成 果：研究開発テーマ候補7件を掘り起こした。

⑤中小企業特許出願等支援事業(事業費：1,979,231円 機構)

ア 知的財産を活用した中小企業の振興を図るため、中小企業の特許出願、意匠出願に要する経費の助成を行った。

| 助成件数 | 助成金額 |
|------|------------|
| 6件 | 1,030,000円 |

イ 中小企業等が外国での事業展開等に活用する産業財産権(特許、実用新案、意匠商標、冒認対策の出願)に要する経費の助成を行った。

| 助成件数 | 助成金額 |
|------|----------|
| 3件 | 875,000円 |

⑥戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)の事業管理機関業務

(機構事業費：45,906,669円 国)

中小企業が研究機関等と連携して行う研究開発、試作品開発等を一貫して支援する国のサポイン事業に採択された次の県内2企業について、事業管理機関として製品化に向けての取組を支援した。

| 企業名 | テ ー マ | 共同研究機関 | 事業期間 |
|------------|---|----------------------------|---------------------------------|
| マイクロエース(株) | 電解硫酸技術を活用した屋外で白化しにくいアルミ合金製品と表面処理装置の開発 | 千葉工業大学、産業技術総合研究所、県工業技術センター | 令和元年 7月4日～ 令和4年 3月31日 |
| 安井(株) | 精密な術野の測量やマーキングを行うための人体に安全な顔料を用いた医療機器認証マーカーの開発 | 国立国際医療研究センター、御国色素(株) | 令和2年 7月28日～ 令和5年 3月31日 |

⑦ものづくり企業技術力向上促進事業(事業費：15,019,313円 県)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものづくり企業等が、技術力を向上するため、県内の公設試験研究機関等と連携して実施する新製品・新技術開発や品質評価の取組を支援した。

●募集期間：令和3年7月21日～9月17日

●応募総数：35件 申請補助金額：24,187,000円

- 交付決定：27件 交付決定金額：18,719,000円
- 交付確定：22件 交付確定金額：13,414,000円

⑧新事業展開・経営力強化支援補助事業（事業費：205,778,373円 県）

新型コロナウイルス感染症の影響等による経営環境の変化に対応するための県内中小企業者のビジネスモデルの転換や販路拡大等を支援し、新事業展開や経営基盤の強化を図る補助事業を実施した。

- ・ 募集期間：[1回目] 令和3年7月15日～8月5日
[2回目] 令和3年9月13日～9月24日
- ・ 応募総数：453件 申請補助金額：715,935,000円
- ・ 交付決定：176件 交付決定額：223,468,000円
- ・ 交付確定：169件 交付確定額：198,673,000円
- ・ 交付確定補助事業
 - 新事業展開 51件
 - 経営力強化 118件

⑨新事業転換サポート事業（事業費：5,790,121円 県）

本県の地域交通（バス事業）について新たな事業展開を図るため、民間事業者に委託して、地域路線維持のための自治体における取組事例等の収集、他地域における業務効率化や改善等に資する取組事例の調査、経営診断等の調査を行った。

- ・ 委託先：公益財団法人九州経済調査協会
- ・ 実績：○ 公共交通網の維持に向けた提案
 - 地域路線の維持のための取組事例（5件）
 - 再生等の事例（2社）
 - 共同経営・共同運行の事例（3件）

(3) 経営基盤強化に資する取引振興、設備導入等に関する事業

①取引振興事業（事業費：14,751,165円 県）

下請取引等に関する企業情報、技術動向等を広く収集・提供し、中小企業の取引の促進と適正化を推進するとともに、受注基盤の強化を図り、中小企業の受注の確保と取引先の多角化を支援した。

(登録企業の状況)

| 区 分 | 令和3年度登録実績 | 累計登録企業数 |
|------|-----------|---------|
| 発注企業 | 2企業 | 220企業 |
| 受注企業 | 9企業 | 433企業 |
| 計 | 11企業 | 653企業 |

(事業実績)

ア 受発注情報等収集提供事業

| 区 分 | 件 数 | 指 導 | 区 分 | 件 数 |
|-------------|------|----------|----------|------|
| 取引あっせん・紹介件数 | 398件 | 相談 件数 | 取引あっせん相談 | 76件 |
| 成立件数 | 49件 | | 経営関係 | 16件 |
| 不成立件数 | 349件 | | 苦情・紛争関係 | 0件 |
| 折衝中 | 0件 | | その他 | 25件 |
| | | | 発注開拓企業件数 | 309社 |

イ 商談会等開催事業

商談会等開催

| 名称・開催日 | 会 場 | 参加企業数 | 備考 |
|------------------------------------|--------------------|----------------------|-----------------------------------|
| 個別商談（宮崎） 令和3年6月～11月 | 県工業技術センター等 （県内） | 発注企業 15社 受注企業 28社 | 県外企業の県内企業訪問や対面商談、Web商談を随時実施 |
| 宮崎県ものづくり企業Web商談会（宮崎） 令和3年8月～11月 | 県工業技術センター （宮崎市） | 発注企業 9社 受注企業 38社 | 全国の機械金属関係の発注企業約12,300社に案内を出し、申込企業 |

| | | | |
|---|--------------------|----------------------|---|
| 製造技術マッチングフェア（北九州市） 令和3年 6月30日 ～ 7月 2日 | 西日本総合展示場 (北九州市) | 発注企業 27社 受注企業 9社 | と随時商談会を開催 福岡県中小企業振興センター主催の同フェアを、昨年度より九州7県共催で対面商談とWeb商談の構成で開催 |
| 宮崎県ものづくり取引拡大商談会（宮崎） 令和4年2月4日、 2月15日～18日 | 県工業技術センター (宮崎市) | 発注企業 11社 受注企業 27社 | 対面とWebで構成する商談会の開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症第6派の影響でWeb商談のみ実施 |

②みやざき小規模企業者等設備導入資金貸付事業（事業費：58,477,514円 県）

小規模企業者の経営基盤強化に必要な設備の導入の促進を行い、企業の経営基盤の強化を支援した。

貸付実績

| 業種別 | 令和3年度 資金貸付実績 | | (参考) | 令和2年度 資金貸付実績 | |
|-------|-----------------|--------|------|-----------------|--------|
| | 件数 | 金額（千円） | | 件数 | 金額（千円） |
| 農林水産業 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 鉱業 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 建設業 | 2 | 27,060 | 4 | 20,000 | |
| 製造業 | 4 | 27,720 | 0 | 0 | |
| 運輸業 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 卸売業 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 小売業 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| サービス業 | 0 | 0 | 1 | 3,700 | |
| その他 | 0 | 0 | 1 | 7,500 | |
| 合計 | 6 | 54,780 | 6 | 31,200 | |

(4) 産業振興に資する情報の収集、分析及び提供に関する事業

①情報化支援活動事業（事業費：5,192,092円 県、機構）

機構特選トピックスやイベントカレンダーなど活用頻度が高いコンテンツを安定的に運用しつつ、相談業務を伴う支援策や機構の重要施策は中小企業等がより見つけやすいようサイドメニューに配置するなど、より分かりやすい情報提供を行った。また、中小企業・ベンチャー支援策等のPRを行うためパンフレットの作成や、中小企業等に有益な支援策を提供するメールマガジンを発行した。

| | | |
|------------|-------------|-----------------------|
| パンフレットの発行 | 発行部数 2,000部 | |
| メールマガジンの配信 | 配信回数 29回 | 登録読者数 2,485者(R4.3.31) |

(5) 産業振興に資する人材の育成に関する事業

①人材育成事業（事業費：14,987,546円 機構 全国協会）

中小企業の経営力・技術力の向上や企業の将来的成長につながる経営者・技術者等の人材育成を図るため、研修等に要する経費を助成した。

ア 企業経営力アップ人材育成支援事業

中小企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、県内の中小企業の経営者

や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成先)

31社

(助成実績)

| 研修等の内容 | 延べ企業数 | 延べ参加者数 |
|----------|-------|--------|
| 経営管理関係 | 3件 | 5人 |
| 営業強化関係 | 2件 | 5人 |
| 技術力向上関係 | 14件 | 94人 |
| リーダー育成関係 | 9件 | 55人 |
| 社内研修 | 3件 | 58人 |
| 合計 | 31件 | 217人 |

イ 未来成長企業経営力アップ人材育成支援事業

未来成長企業の経営管理能力や技術力の向上を図るため、未来成長企業の経営者や従業員が国内の公私機関で実施される専門的な研修に参加したり、講師を招聘して研修を開催する場合の経費の一部を助成した。

(助成先)

1社

(助成実績)

| 研修等の内容 | 延べ企業数 | 延べ参加者数 |
|----------|-------|--------|
| 経営管理関係 | 0件 | 0人 |
| 営業強化関係 | 0件 | 0人 |
| 技術力向上関係 | 0件 | 0人 |
| リーダー育成関係 | 0件 | 0人 |
| 社内研修 | 1件 | 48人 |
| 合計 | 1件 | 48人 |

ウ 若手技術者等育成支援事業

県内中小企業の技術力や研究開発力の向上を図るため、若手技術者・研究者が取り組む「ものづくり基盤技術」を活用した技術開発に対して支援を行った。

| | テーマ | 企業名 | 備考 |
|---|--|------------------|--|
| 1 | 高糖度トマト等の安定生産のための非接触水分計測装置の開発と事業化可能性の調査 | (株)エフオーテクニカ | 若手1名(22歳)が非接触水分計測装置の開発と事業化可能性調査に取り組んだ。 |
| 2 | 耐候性に優れた高性能・小型RFIDタグの開発 | 吉川工業アールエフセミコン(株) | 若手1名(40歳)が耐候性に優れた高性能・小型RFIDタグの開発に取り組んだ。 |
| 3 | 塗装工程における異物付着削減の技術開発 | (株)新生工業 | 若手1名(27歳)が塗装工程における異物付着削減の技術開発に取り組んだ。 |
| 4 | UVプリント技術における回転用印刷治具の開発 | 松山塗料商事(株) | 若手1名(27歳)がUVプリント技術における回転用印刷治具の開発に取り組んだ。 |
| 5 | プロダクトデザイン技術の習得、高度化及び加工技術を用いた新商品開発 | (株)綾都 | 若手1名(25歳)がプロダクトデザイン技術の習得、高度化及び加工技術を用いた新商品開発に取り組んだ。 |
| 6 | HACCPに沿った衛生管理技術の開発 | 外浦漁業協同組合 | 若手1名(22歳)が生物的危害要因防止対策技術及び従業員の衛生管理技術の構築に取り組んだ。 |
| 7 | 生らっきょうからのフルクタン抽出技術開発及び機能 | (株)上沖産業 | 若手1名(40歳)が生らっきょうからのフルクタンの効率的抽出 |

| | | | |
|----|---|-------------|--|
| | 性調査 | | 技術開発に取り組んだ。 |
| 8 | トマト施設 I o T 導入技術とトマトソース高度加工技術の習得による機能性表示食品の開発 | (株)藤木石油店 | 若手1名(40歳)がリコピン・GABA含有のトマト栽培技術及びトマトソース加工技術の確立に取り組んだ。 |
| 9 | 木材加工技術の開発及び自社生産木材を使用した試作品開発 | (株)吉永林業 | 若手1名(35歳)が木材加工技術の高度化及び試作品開発に取り組んだ。 |
| 10 | 樹脂への高密着めっきプロセスの開発 | 吉玉精鍍(株) | 若手1名(24歳)が最適密着性付与工程及び高密着めっきプロセスの開発に取り組んだ。 |
| 11 | I o T を活用した状態監視・分析システムの開発 | (株)興電舎 | 若手1名(37歳)が状態監視機能の実証実験及び画像処理データのAI分析に取り組んだ。 |
| 12 | 工事現場などで接続を容易にする無線環境対応技術の確立 | (株)アシストユウ | 若手1名(26歳)が無線・有線切り替えインターフェースの開発、ミニサーバの構築及び物体移動検出技術の確立に取り組んだ。 |
| 13 | 自動車用樹脂部品への塗装を可能にする表面処理技術の開発 | マイクロエース(株) | 若手1名(30歳)が表面処理技術開発、密着向上技術開発及び密着メカニズム解明に取り組んだ。 |
| 14 | 木材乾燥機廃液浄化技術の開発 | (株)高嶺木材 | 若手1名(39歳)が樹脂吸着廃液処理装置のシステム化・実証試験、鉄吸着廃液処理装置の軽労化及び処理排水の定量的評価に取り組んだ。 |
| 15 | 焼成ボラの土木材料への応用に関する研究開発 | (有)南建興業 | 若手1名(28歳)がコンクリート用軽量骨材への応用及び透水性ブロックの開発に取り組んだ。 |
| 16 | DX管理システムの高度化及び、酵素特化の商品開発 | 早川しょうゆみそ(株) | 若手1名(32歳)がDX管理システムの高度化及び酵素特化発酵食品の開発に取り組んだ。 |
| 17 | 原料の品質を見える化して長年の経験と勘による製茶技術を数値化する事への挑戦 | (有)宮崎上水園 | 若手1名(45歳)が原料茶葉の目利き手法確立、製茶製造条件のデータ化及び官能評価等に取り組んだ。 |
| 18 | 野菜チップス賞味期限延長技術及び品質管理技術の高度化 | (株)デイリーマーム | 若手(40歳)他3名が保存性評価試験、使用油の検討及び官能評価による賞味期限管理基準検討に取り組んだ。 |
| 19 | 山間部のスマート農業実現に向けたICT・IoT技術の確立 | (株)ソフモ | 若手1名(31歳)が栽培に必要なIoT技術の習得、栽培管理アプリの開発及び実証試験に取り組んだ。 |

(6) 産業振興の基盤づくりに資する人的、技術的ネットワークの強化及び高度化等に関する事業

①中山間地域産業振興センター運営事業 (事業費: 8,332,617円 県)

中山間地域における事業者等からの相談に対応する「中山間地域産業振興コーディネーター」を配置し、地域資源等を生かした商品の開発や販路拡大の支援のほか、中山間地域の産業振興に資する「中山間セミナー」を実施した。

中山間セミナー開催

| 開催日 | 会場 | 参加者数 | 内容 |
|--------------|-----------------|------|---|
| 令和3年8月24日(火) | オンライン 椎葉村商工会 | 10名 | 「SNSを始めてみよう!活用方法説明会~FacebookもLINEも、もう怖くない!」 |

| | | | |
|-------------|---------------------------|-----|---|
| | | | 地域の情報発信をする上で非常に有効かつ産業振興に繋がるきっかけとするため、椎葉村商工会との共催でSNSに関するセミナーを開催した。 参加者からは地域外からの情報取得や発信の容易さについて大変良い学びがあったとの意見があった。 |
| 令和4年2月4日(金) | オンライン 西米良村基幹 集落センター | 20名 | 「マーケティングセミナー」 西米良地区のゆず生産者を対象に、ゆずを使った新商品開発にあたって基本的なマーケティングに関するセミナーを行った。 参加者からは知識の向上、産業振興のカギとなる情報を得ることができたとの意見があった。 |

②地域課題解決型起業支援事業（事業費：18,006,032円 県）

地域課題の解決に取り組む新たな起業者を対象に、起業支援金の交付及び事業の立ち上げ等に伴走支援を行った。

補助件数 9件 補助金額 15,304,000円

| | 商号 | 事業内容 | 開業届出日等 |
|---|------------------------------|---|----------|
| 1 | トラットリア キジョリーナ | 移動販売車による地元食材を活用したお弁当販売及びケータリング | R3.9.27 |
| 2 | VOTE | 高原町内唯一のパン屋を事業承継し、カフェ&デリカテッセンを開業 | R3.11.15 |
| 3 | Hong Kong Cafe Cohk | 県内在住外国人のコミュニティの場となる香港スタイルのカフェ | R3.12.20 |
| 4 | PINAQ | 女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品（超吸収サニタリーシート）の製造・販売 | R3.12.28 |
| 5 | cafe dining takaharu BASE | 高原町商店街の活性化に繋がる文具店(事業承継)と、地域コミュニティの場となるカフェ | R3.6.16 |
| 6 | 横町憩苑 | 農村体験型古民家民泊と地元食材等の販売店 | R3.12.21 |
| 7 | 中華リトル上海 | 水産物の消費拡大、船釣りツーリズムによる女性客開拓を目指したキッチントレイラー | R3.12.27 |
| 8 | 小崎商店 | 椎葉村内の買い物弱者対策として食料雑貨小売店及び移動販売車による訪問販売 | R3.6.17 |
| 9 | OCT268 | 牛肉・牛乳の消費拡大を目指し、牛の肥育農家・酪農家と連携したカフェ | R3.6.10 |

③東九州メディカルバレー医工連携総合支援事業（事業費：4,502,375円 県）

東九州メディカルバレー構想を推進するため、「宮崎県医療機器産業研究会」(*)の会員企業を対象に医療機器産業への参入を支援する「参入支援・開発支援コーディネーター」を設置し、情報提供や助言を行うとともに、会員企業相互や医療関係機関の橋渡し役として活動を行った。

また、医療機器等の販路開拓を支援する「販路開拓コーディネーター」や医療機器等の薬事戦略などについて助言指導を行う「薬事戦略アドバイザー」を設置して、首都圏の製販業者や病院、大学等を訪問し、会員企業の製品等とのマッチング、関係業界や医療現場のシーズ・ニーズの情報提供を行った。

※ 宮崎県医療機器産業研究会

- ・ 設立趣旨： 東九州メディカルバレー構想に基づき、医療機器産業の振興を図るため、本県内の産学官が連携し、企業の医療機器産業への新規参入、取引拡大を推進することを目的に設立

- ・設 立： 平成23年10月19日
- ・会 員 数： 112企業・団体（企業：94社、支援機関：18団体）

④フードビジネス推進基盤強化事業（事業費：43,798,042円 県）

フードビジネスに関係する事業者等の様々な相談に対応するため、経営・財務、販売戦略、販路開拓、デザイン、海外展開等の専門家を配置した総合相談窓口「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、フード関連の関係機関とも連携を図りながら、相談者の課題解決に向けた助言や提案等の支援に取り組んだ。今年度も、コロナ禍で対面による面談ができない期間があったので、WEB面談を積極的に活用した。

ア 担当コーディネーター等（12名）

| | | |
|----------|--------|-------------------|
| コーディネーター | 高峰 由美 | 事業計画、商品開発、海外展開 |
| | 藤藪 志保 | 商品開発、レシピ、食品表示 |
| | 関屋 千草 | デザイン、商品開発 |
| | 諏訪園 哲哉 | 商品開発、経営管理、品質管理 |
| アドバイザー | 佐々木 隆行 | 経営戦略、事業計画、営業企画 |
| | 奥山 真智子 | 品質管理、HACCP |
| | 川越 おもと | 品質管理、HACCP |
| | 小松 弘幸 | 品質管理、HACCP |
| | 馬場 愛子 | 経営戦略、事業計画、経営企画 |
| | 八田 淳 | 調理 |
| | 上野 晃治 | 事業計画、販売促進、マーケティング |
| | 小治 健太郎 | 研究開発、食品の機能性分野 |

イ 相談実績

| 相談区分 | 相談件数 |
|------------|-------|
| 国、自治体等の助成金 | 257 |
| 事業計画 | 120 |
| 商品開発 | 314 |
| 6次産業化 | 13 |
| 創業 | 25 |
| 販路開拓 | 140 |
| マーケティング | 27 |
| デザイン | 165 |
| 食品表示 | 101 |
| 衛生管理 | 55 |
| その他 | 284 |
| 計 | 1,501 |

ウ 相談対応以外の活動内容

- ・ホームページによる情報提供
フードビジネスに関する企業等にステーションの活動を分かりやすく紹介するために、機構のホームページ内に「みやざきフードビジネス相談ステーション」のホームページを開設し、随時更新しながら情報提供を行った。
- ・連絡会議等の開催
フードビジネス相談ステーションの相談案件等について、関係機関の情報共有及び事業の円滑な推進を図ることを目的に、月1回連絡会議を開催した。また、相談に適切に対応できるよう、農業振興公社と相互の業務内容についての情報共有会議を月1回開催した。
- ・ステーションニュースの発行
フードビジネス相談ステーションのPRを積極的に図っていくため支援事例等を中心に年6回発行し、関係機関へ幅広く周知を図った。
- ・沖縄大交易会への出展支援
本年度の沖縄大交易会2021について、リアル商談会及びオンライン商談会への出展推薦を行った。

⑤ トータルコーディネーターによる販路開拓等サポート事業

(事業費：7,626,262円 県)

県が実施する衛生管理・品質管理向上研修事業を受講する企業に対して、伴走型のコーディネーターを配置し、HACCP対応をしていく上で必要である経営指導や商品の付加価値向上、生産工程の改善等を重点的に支援したほか、ビジネスマッチング相談を実施した。

- ・支援対象事業者：令和3年度衛生管理・品質管理向上研修受講事業者
過去に受講した事業者や今後の受講予定事業者
- ・企業訪問回数：延べ29回

- ・オンラインセミナー

| | |
|------|--|
| 日時 | 令和3年10月4日、7日、12日、15日、19日、21日 |
| 場所 | オンライン |
| 参加人数 | 258名 |
| 内容 | コロナ渦における支援企業の収益向上を目的とした「オンラインツール活用セミナー」と「IT活用ワンポイントセミナー」のオンラインセミナー(全6回)を開催 |

- ・オンライン個別商談会の開催

| | | | |
|-------|------------------|------------|------------|
| 日時 | 令和3年11月12日 | 令和3年11月16日 | 令和3年11月29日 |
| 場所 | オンライン | オンライン | オンライン |
| 参加企業 | 8社 | 5社 | 7社 |
| 商談相手先 | 不二商事(株) (株)大寿 | 信濃屋食品(株) | (株)地元カンパニー |
| 商談件数 | 10件 | 5件 | 7件 |

| | | |
|-------|--------------------------------|-----------------|
| 日時 | 令和4年2月21日 | 令和4年2月25日 |
| 場所 | オンライン | オンライン |
| 参加企業 | 18社 | 7社 |
| 商談相手先 | (株)ハットリー、(株)錦屋商事、霧島酒造(株)、(株)石原 | (株)ハットリー(株)マルイチ |
| 商談件数 | 20件 | 9件 |

- ・ビジネスマッチング相談
県内外の食品関連事業者等からの取引相談情報と県内食品製造事業者とのマッチング相談を実施した。
製造委託・受託：71件(成立20件)、商品・原材料：96件(成立36件)
- ・衛生管理・品質管理向上研修会
食品関連事業者のための衛生管理・品質管理向上を目的としたオンラインセミナー及び個別相談会を実施した。2回(2/22、2/28)

⑥ 食品表示法等アドバイザー派遣事業(事業費：5,591,935円 県)

食品表示アドバイザーを配置し、卸売業者等の取引の基礎である食品表示の適正な作成に取り組む企業に対して、食品表示の作成及びスキルアップを支援した。

- ・食品表示アドバイザーによる表示作成支援件数：74件
- ・電話での一般的な相談対応件数：95件
- ・食品関連事業者向け研修会の開催(事業者のみオンライン受講)

| | |
|-----|------------------|
| 期日 | 令和3年11月11日 |
| 会場 | みやざきNPO・協働支援センター |
| 参加者 | 36社57名 |

- ・アドバイザー向け資質向上を目的とした研修会の開催：3回

⑦ プラットフォームによる地域産業・企業成長促進事業(事業費：57,376,028円 県)

産学金労官の13機関で構成される企業成長促進プラットフォームの事務局を運営し、成長期待企業の認定を行うとともに、同プラットフォーム構成機関が連携した企業訪問等による指導・助言や企業の成長を促進する支援策等により、中核企業育成に向けた重点的な支援を行った。

ア 成長期待企業の認定

| | |
|---------|-----|
| 成長期待企業数 | 29社 |
|---------|-----|

【成長期待企業一覧】

(五十音順)

| | 企業名 | 業種 | 所在市町村 |
|----|-----------------|------------------|-------|
| 1 | (株)池上鉄工所 | 生産用機械器具製造業 | 延岡市 |
| 2 | (株)井崎製作所 | 金属製品製造業 | 新富町 |
| 3 | (株)一平ホールディングス | 飲食業／小売業 | 宮崎市 |
| 4 | (株)英楽 | 食料品製造業 | 門川町 |
| 5 | (株)オフアサポート | 老人福祉・介護事業／学習支援事業 | 宮崎市 |
| 6 | (株)九建 | 総合工事業 | 宮崎市 |
| 7 | (株)くしまアオイファーム | 農業 | 串間市 |
| 8 | (株)コア・クリエイトシステム | 情報サービス業 | 宮崎市 |
| 9 | (株)サニー・シーリング | 印刷・同関連業 | 都城市 |
| 10 | (株)システム技研 | 生産用機械器具製造業 | 都城市 |
| 11 | (株)修電舎 | 電気機械器具製造業 | 延岡市 |
| 12 | (株)新海屋 | 食料品製造業 | 延岡市 |
| 13 | (株)SHINGAKI | 飲食料品卸売業 | 宮崎市 |
| 14 | (株)SUNAO製菓 | 無店舗小売業 | 宮崎市 |
| 15 | スパークジャパン(株) | 情報サービス業 | 宮崎市 |
| 16 | (株)高嶺木材 | 木材・木製品製造業 | 日南市 |
| 17 | (株)新原産業 | その他の卸売業 | 三股町 |
| 18 | 日本情報クリエイト(株) | 情報サービス業 | 都城市 |
| 19 | ネオフーズ竹森(株) | 食料品製造業 | 都城市 |
| 20 | (株)日向屋 | 食料品製造業 | 門川町 |
| 21 | ミクロエース(株) | 金属製品製造業 | 宮崎市 |
| 22 | (株)宮防 | 職別工事業(防水工事等) | 宮崎市 |
| 23 | (株)モリタ | 輸送用機械器具製造業 | 宮崎市 |
| 24 | 森山工業(株) | 金属製品製造業 | 延岡市 |
| 25 | ヤマエ食品工業(株) | 食料品製造業 | 都城市 |
| 26 | (株)山崎産業 | 総合工事業 | 延岡市 |
| 27 | 大和フロンティア(株) | 木材・木製品製造業 | 都城市 |
| 28 | 吉田産業(株) | 木材・木製品製造業 | 日南市 |
| 29 | (株)ワン・ステップ | 物品賃貸業 | 宮崎市 |

※上記29社に加えて、「地域中核的企業」の認定を受けたミツワハガネ(株)及び宮崎ひでじビール(株)についても成長期待企業として支援を行った。

イ 企業訪問等数

28社に対して延べ303回

ウ 成長期待企業への外部専門家の派遣

| | 企業名 | 専門家分野 | 専門家 |
|---|---------------|-------------|----------------|
| 1 | (株)一平ホールディングス | 人材育成・人事評価制度 | (株)B-GROW 空 直美 |
| 2 | ヤマエ食品工業(株) | 原価管理制度 | 中村 純治 |

| | | | |
|---|-------------|--------------|-----------------|
| 3 | (株)モリタ | JISQ9100認証取得 | 山口 定市 |
| 4 | (株)ワン・ステップ | 人材育成・人事評価制度 | (株)B-GROOW 空 直美 |
| 5 | スパークジャパン(株) | マーケティング | 大澤 証理 |

エ 企業成長ステージアップ支援事業補助金

| | 企業名 | 内容 | 補助額 |
|----|---------------|--------|-------------|
| 1 | (株)一平ホールディングス | 販路拡大 | 815,000円 |
| 2 | スパークジャパン(株) | 研究開発 | 3,000,000円 |
| 3 | (株)ワン・ステップ | システム構築 | 1,127,000円 |
| 4 | (株)高嶺木材 | 設備導入 | 5,000,000円 |
| 5 | ヤマエ食品工業(株) | 販路拡大 | 420,000円 |
| 6 | ヤマエ食品工業(株) | 販路拡大 | 1,000,000円 |
| 7 | ヤマエ食品工業(株) | 設備導入 | 1,119,000円 |
| 8 | ネオフーズ竹森(株) | 設備導入 | 4,662,000円 |
| 9 | (株)山崎産業 | 販路拡大 | 700,000円 |
| 10 | (株)九建 | 販路拡大 | 448,000円 |
| 11 | (株)日向屋 | 販路拡大 | 1,279,000円 |
| | | 合計 | 19,570,000円 |

オ 成長期待企業パワーアップ支援事業補助金（設備導入等に対する利子補給）

| | 企業名 | 内容 | 補助額 |
|---|-------------|-------------------|------------|
| 1 | (株)井崎製作所 | 炭酸ガスレーザー加工機導入 | 108,562円 |
| 2 | (株)SHINGAKI | 食肉加工設備導入 | 1,570,205円 |
| 3 | (株)高嶺木材 | 大型製材工場新設（高原工場） | 2,271,206円 |
| 4 | (株)ワン・ステップ | 遊具倉庫整備（浜松営業所） | 152,001円 |
| 5 | | 遊具倉庫整備（宮崎本社） | 74,996円 |
| 6 | | 遊具保管コンテナ等整備（宮崎本社） | 34,707円 |
| 7 | | 遊具保管倉庫整備（宮崎本社） | 138,876円 |
| | | 合計 | 4,350,553円 |

カ 成長期待企業を対象とした首都圏等における企業成長促進販路拡大支援事業

- ・ A B I C（特定非営利活動法人国際社会貢献センター）から商社 O B 等を各企業のコーディネーターとして派遣

| 企業名 | 回数 |
|--------------|-----|
| (株)オフサポート | 1回 |
| (株)サニー・シーリング | 35回 |

- ・ (独) 中小企業基盤整備機構が主催する新価値創造展2021にて産業振興機構ブース内に3社が出展

(株)九建、(株)システム技研、(株)ワン・ステップ

⑧地域を支える未来企業育成事業（事業費：13,053,273円 県）

県内の中小企業等との取引や仕入などの県内経済の循環拡大、地域の雇用への貢献等により地域経済に寄与するなど、市町村などの各地域経済をけん引することが期待される企業を「未来成長企業」として選定し、担当コーディネーターがそれぞれ企業ごとの課題の整理、解決のための各種支援を行った。

ア 未来成長企業の選定

| | |
|--------|-----|
| 未来成長企業 | 79社 |
|--------|-----|

【未来成長企業一覧】

(五十音順)

| | 企業名 | 所在地 | | 企業名 | 所在地 |
|----|---------------|------------|----|----------------|------------|
| 1 | (株)アキタ製作所 | 日向市 | 41 | (株)TANI | 延岡市 |
| 2 | (株)アシストユウ | 宮崎市 | 42 | (株)千穂の家 | 高千穂町 |
| 3 | (株)綾・野菜加工館 | 綾町 | 43 | (株)中園工業所 | 延岡市 |
| 4 | (株)イート | 宮崎市 | 44 | (有)南建興業 | 都城市 |
| 5 | (株)一和誠寿 | 小林市 | 45 | (株)南郷包装 | 日南市 |
| 6 | <u>(株)英楽</u> | <u>門川町</u> | 46 | (株)新原産業 | 三股町 |
| 7 | えびの電子工業(株) | えびの市 | 47 | ネオフーズ竹森(株) | 都城市 |
| 8 | (株)MFE HIMUKA | 日向市 | 48 | 八興運輸(株) | 日向市 |
| 9 | (有)大田商店 | 串間市 | 49 | (株)花菱塗装技研工業 | 延岡市 |
| 10 | (株)岡田商店 | 美郷町 | 50 | (株)ハニー | 宮崎市 |
| 11 | 農事組合法人香川ランチ | 川南町 | 51 | (株)ハマテック | 西米良村 |
| 12 | (株)かぐらの里 | 西都市 | 52 | 原田建設(株) | 宮崎市 |
| 13 | (株)鹿島園本舗 | 門川町 | 53 | (株)ハंक・ディーシー | 宮崎市 |
| 14 | (株)加藤えのき | 宮崎市 | 54 | (株)光コーポレーション | 高千穂町 |
| 15 | (株)河宗 | 都城市 | 55 | (株)ひのかげアグリファーム | 日之影町 |
| 16 | 木城林産(株) | 木城町 | 56 | (株)ひむか流通ネットワーク | 宮崎市 |
| 17 | キムラ漬物宮崎工業(株) | 新富町 | 57 | <u>(株)日向屋</u> | <u>門川町</u> |
| 18 | <u>(株)九建</u> | <u>宮崎市</u> | 58 | (株)広瀬 | 新富町 |
| 19 | (株)九州建設サポート | 宮崎市 | 59 | (有)ファームヤマト | 都城市 |
| 20 | (株)九州築地 | 宮崎市 | 60 | 福栄産業(株) | 西都市 |
| 21 | (株)教育情報サービス | 宮崎市 | 61 | (株)フジキン | 都城市 |
| 22 | (株)餃子の馬渡 | 高鍋町 | 62 | (株)松尾醸造場 | 串間市 |
| 23 | (株)共立電照 | 宮崎市 | 63 | マツタ工業(株) | 延岡市 |
| 24 | (株)クリエイティブマシン | 宮崎市 | 64 | (株)松山 | 宮崎市 |
| 25 | (株)栗山ノーサン | 都城市 | 65 | 松山塗料商事(株) | 延岡市 |
| 26 | 五ヶ瀬ワイナリー(株) | 五ヶ瀬町 | 66 | (株)水永水産 | 門川町 |
| 27 | (株)コムテック | 高原町 | 67 | 道本食品(株) | 宮崎市 |

| | | | | | |
|----|-------------------|------------|----|----------------|------------|
| 28 | (株)山洋製作所 | 宮崎市 | 68 | ミツイシ(株) | 日向市 |
| 29 | 三和交通(株) | 西都市 | 69 | 宮崎果汁(株) | 串間市 |
| 30 | (株)塩川産業 | 宮崎市 | 70 | (有)宮崎上水園 | 三股町 |
| 31 | ジャパンキャビア(株) | 宮崎市 | 71 | (株)宮崎南印刷 | 宮崎市 |
| 32 | (株)昭和 | 延岡市 | 72 | (株)MUSASHI | 宮崎市 |
| 33 | (株)昭和テクノコンベヤ | 都農町 | 73 | (株)モリタ | 宮崎市 |
| 34 | (株)新生工業 | 木城町 | 74 | <u>森山工業(株)</u> | <u>延岡市</u> |
| 35 | (株)新緑園 | 新富町 | 75 | (株)山崎産業 | 延岡市 |
| 36 | (株)杉本商店 | 高千穂町 | 76 | (株)ヤマシタアグテム | 三股町 |
| 37 | <u>(株)SUNAO製菓</u> | <u>宮崎市</u> | 77 | (株)ヤミー・フードラボ | 高鍋町 |
| 38 | (有)瀬戸山ブロック工業所 | 高原町 | 78 | 吉玉精鍍(株) | 延岡市 |
| 39 | 相馬工業(株) | 宮崎市 | 79 | (株)吉永林業 | 諸塚村 |
| 40 | (有)竹炭の里 | 国富町 | | | |

※下線の企業は令和3年度成長期待企業に認定された。

イ 企業訪問等数
79社に対して延べ364回